

公益信託林女性自然科学者研究助成基金
平成22年度国際研究交流助成候補者募集要領
(国際研究集会論文発表及び研究交流のための渡航助成)

1. 趣 旨

海外で開催される国際研究集会に参加して研究成果の発表を行うため、あるいは海外の研究者と共同研究をすることにより研究の国際的進展を図るため、海外に渡航する女性研究者(国籍を問わない)の渡航費用の助成を行う。(原則としてわが国から海外への渡航とする。)

2. 助成対象分野

自然科学(対象範囲は化学一般又は化学に関連ある物理学及び生物学とする)の基礎的研究分野に関する国際研究集会への参加又は海外の研究者との共同研究とする。

3. 助成対象者

大学卒業者またはこれと同等以上の学力を有し、次のA又はBに該当する者。

A. 海外で開催される国際研究集会で自己の研究成果の発表を行う者

B. 一定期間海外の研究機関に滞在して、共同研究に従事することが決定している者

4. 助成金額(委任経理は認めない。)

航空運賃及び滞在費(国際研究集会発表のみ)について、実費を勘案して決定する。
年間12件程度 総額 約200万円

5. 選考の基準

原則として、国際研究交流の経験が浅い者を優先する。

国際研究集会は、国際的に権威ある機関又は団体が主催するか、或いは母体機関となっている学術研究集会を対象とする。

6. 応募方法

「応募手続き」に従い、「申請書」および所定の書類を整えて受託者宛に送付する。

「応募手続き」・「申請書」用紙は中央三井信託銀行のホームページからダウンロードする。

http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html(A4サイズ、片面で使用のこと。)

7. 応募締切日[当日消印有効、渡航予定日と応募締切に注意のこと。]

第1回:平成22年3月31日(平成22年6月~9月に渡航希望)、第2回:7月31日
(平成22年10月~平成23年1月に渡航希望)、第3回:平成22年11月30日(平成23年2月~5月に渡航希望)

8. 選考方法

選考委員によって審査のうえ、当基金運営委員会で決定する。

9. 選考結果の通知

原則として渡航予定日の1ヶ月前までに応募者宛直接通知する。6月、10月、2月に出発の方の場合は渡航予定日直前となる可能性があります。

10. 助成金の交付

原則として出発日以前に交付する。6月、10月、2月に出発の方の場合は事後となる可能性があります。

11. 報告の義務

帰国後、1ヶ月以内に所定の用紙による報告書の提出を求める。

12. 問合せ及び応募書類送付先(受託者)

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

中央三井信託銀行本店法人営業部公益信託課 林基金担当 齋藤 正実

TEL:03-5232-8911 FAX:03-5232-8919 MAIL:Masami_Saito@chuomitsui.jp

< 国際研究交流助成応募手続き >

1. 応募時の提出書類 (* 通数を間違えないよう注意のこと。)

A. 国際研究集会に出席し発表する場合

申請書：別紙様式 (P.1~5、 A 4 サイズ) 4 通

< (正) 1 通、 (写) 3 通 >

国際研究集会の最新サーキュラーの (写) 4 通 (第 2 サーキュラーが望ましいが、未着なら第 1 サーキュラーでもよい。)

国際研究集会における研究発表論文の採択証明書の (写) 4 通
(未着の場合 にその旨を明記の上、到着後速かに追加提出する。)

所属機関長又は研究指導者の推薦書 4 通 (様式任意)

< (正) 1 通、 (写) 3 通 >

発表予定論文の要旨 (添付の用紙使用) 4 通

発表申込書に添付した論文要旨の (写) 4 通

主要研究論文別刷 ((写) でもよい) 3 編以内 (各 4 通)

選考結果の通知先 (郵便番号・住所・所属機関・氏名等を宛名シール
または 6cm × 10cm 程度の同種の用紙に記入。) 1 枚

* 応募書類の提出にあたっては、 の申請書 4 通それぞれに から を
それぞれ順番にセットのうえ を忘れずに添えて提出して下さい。

B. 海外で共同研究をする場合

申請書：別紙様式 (P.1,2,6,7、 A 4 サイズ) 4 通

< (正) 1 通、 (写) 3 通 >

受入研究機関の受入承諾書 (写) 及び関連する往復文書 (写) 各 4 通

主要研究論文別刷 ((写) でもよい) 3 編以内 (各 4 通)

選考結果の通知先 (郵便番号・住所・所属機関・氏名等を宛名シールま
たは 6cm × 10cm 程度の同種の用紙に記入。) 1 枚

* 応募書類の提出にあたっては、 の申請書 4 通それぞれに と をそれ
ぞれ順番にセットのうえ を忘れずに添えて提出して下さい。

2. 申請についての注意

- (1) A、B いずれも年 3 回応募を受付ける。(募集要領参照)
- (2) A の主催団体は一時的に組織された組織委員会であっても、国際的に評価を得た組織委員で構成されているものであればよい。国際的な機関 (I C S U、I U P A C など) が母体となっている場合は、その旨を明記すること。
- (3) 学生が応募する場合は、所属機関長の渡航承諾書 (申請書の 12.) は不要。
- (4) (写) や宛名シール等の送付漏れ等不備が多いと受付いたしませんので、提出前に必ず再確認ください。

以 上